

2024 年度第 4 回薬事委員会記録

日 時：2025 年 3 月 6 日(木) 16 時 00 分

場 所：病院多目的ホール

出席者：鈴木、白上、金森、加藤(丈)、吉倉、浅野、田島、柴田、大井、渡邊、中村、吉田、馬場、松本、安田、小森、丹羽

代理出席者：青島[産婦人科]、

委任状提出：市來、加藤(博)、酒々井、塚田、中野、加藤(尚)、山口、飯原

欠席者：小椋、小川、江頭、澤田、加藤(大)、堀、田辺、中島、加藤(徹)、長瀬、三輪、高橋、清水、堀川、二村、久野、加藤(弘)

記録の承認

2024 年 12 月 5 日開催の薬事委員会の記録が承認された。

議 題

1. 医薬品の採用品目数について

現在の採用品目数と本会終了後の採用品目数について確認した。

2. 院内採用医薬品

① 医薬品の採用について

1 品目（アロカリス点滴静注 235mg）の採用を承認した。

② 医薬品の継続試用について

2 品目（フィコンパ点滴静注用 2mg、アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL）の継続試用を承認した。

③ 医薬品の新規試用について

2 品目（アウィクリ注フレックスタッチ総量 300 単位、イノラス配合経腸用液）の新規試用について、申請診療科および薬剤部より説明を行い、承認可否の投票を実施した結果に基づき、全て承認した。

④ 医薬品の規格変更について

1 品目（アミティーザカプセル 12 μ g）について報告し、規格変更の承認可否の投票を実施した結果に基づき、承認した。

⑤ 医薬品の採用変更について

2 品目（イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg「SUN」・同 100mg）の供給問題に伴う採用変更を報告した。

⑥ 医薬品の採用中止について

9 品目（トビエース錠 4mg、アンペック坐剤 10mg、カンサイダス点滴静注用 50mg・同 70mg、ザルトラップ点滴静注 100mg・同 200mg、ヒューマログミックス 50 注ミリオープン、フルカリック 1 号輸液、フルカリック 2 号輸液）の採用中止を承認した。

⑦ 医薬品の患者限定承認について

19 品目（オムジャラ錠 100mg・同 150mg・同 200mg、スキリージ皮下注 180mg オートドーザー、タバリス錠 150mg、リブテンシティ錠 200mg、ツムラ五虎湯エキス顆粒、ブリリンタ錠 90mg、アウィクリ注フレックスタッチ総量 300 単位、ルムジェブ注カート、ケサンラ点滴静注液 350mg、ニッパスカルシウム顆粒 100%、レケンビ点滴静注 200mg・同 500mg、トルカプ錠 160mg・同 200mg、トロデルビ点滴静注用 200mg、ビプレッソ徐放錠 150mg、トラマール注 100）の患者限定使用の承認を報告した。また、院内の患者限定承認を受けた医薬品のうち 4 品目（ブリリンタ錠 90mg、ニッパスカルシウム顆粒 100%、トルカプ錠 160mg・同 200mg）は院外においても患者限定使用を承認したことを報告し

た。

3. 院外採用医薬品

① 医薬品の採用について

13 品目（ウチダの八味丸 M、ユバンシ配合錠、アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位、チラーヂン S 錠 12.5 μ g、メルカゾール錠 2.5mg、レキサルティ OD 錠 0.5mg、ロゼバリン筋注用 25mg、アリッサ配合錠、ブリイビアクト錠 25mg・同 50mg、リットフーロカプセル 50mg、クービビック錠 25mg・同 50mg）の新規採用を報告した。

② 医薬品の採用中止について（同種同効薬の採用に伴う中止）

11 品目（ヴォリブリス錠 2.5mg、ゼローダ錠 300、ノボリン N 注フレックスペン、プログラフカプセル 0.5mg・同 1mg、マーベロン 28、リバスタッチパッチ 4.5mg・同 9mg・同 13.5mg・同 18mg、レンドルミン錠 0.25mg）の採用中止を報告した。

③ 医薬品の採用中止について（2 年以上処方がないため中止）

18 品目（アメパロモカプセル 250mg、ウルグートカプセル 200mg、エストラサイトカプセル 156.7mg、キシロカインビスカス 2%、ケルロング錠 10mg、コレアジン錠 12.5mg、ザロンチンシロップ 5%、ゼフィックス錠 100、セロクエル 200mg 錠、ダイドロネル錠 200、チアプリド細粒 10%「サワイ」、トミロン錠 100、ミケラン LA カプセル 15mg、ミグリステン錠 20、ランツジールコーワ錠 30mg、ルジオミール錠 10mg、レキソタン細粒 1%、アポカイン皮下注 30mg）の採用中止を承認した。

4. 医薬品の販売中止について

9 品目（テトラビック皮下注シリンジ、アモキシサンカプセル 10mg・同 25mg、EPL カプセル 250mg、コランチル配合顆粒、ザイロリック錠 100、プロチアデン錠 25、レプリントン配合錠 L100、アズマネックスツイストヘラー100 μ g60 吸入）の販売中止を報告した。

5. 医薬品の販売中止に伴う採用変更について

8 品目（ジフェニドール塩酸塩錠 25mg「CH」、バラシクロビル顆粒 50%「SPKK」、イオパミロン注 150 50mL、ヘパリンナトリウム注 N5 千単位/5mL「AY」(アンプル品)、ミダゾラム注 10mg「サンド」、ザイロリック錠 50、スプレキュア点鼻液 0.15%、トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg「ニプロ」）の販売中止に伴う採用変更を報告した。

6. 後発医薬品への切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、院内採用医薬品 7 品目（イグザレルト OD 錠 10mg・同 15mg、エクア錠 50mg、エパデール S900、プラケニル錠 200mg、メリスロン錠 6mg、ハラヴェン静注 1mg）および患者限定承認医薬品 1 品目（ロゼックスゲル 0.75%）、院外採用医薬品 1 品目（アリセプト錠 10mg）の後発医薬品への切り替えを報告した。また、1 品目（イコサペント酸エチル粒状カプセル 600mg「TC」）の院外後発医薬品の採用追加を報告した。

7. 当院における医薬品副作用報告事例について

2024 年 12 月から 2025 年 2 月において、当院における医薬品による副作用の報告事例は提出されていないことを報告した。

8. 医薬品安全使用のための業務手順書について

2025 年 2 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。全病棟にて C 評価の項目はなく、業務手順書に基づいた医薬品の安全使用ができていることが確認された。また、一部業務の運用方法の変更に伴い、業務手順書の改訂を行うことを報告した。

9. フォーミュラリーの運用について

ビスホスホネート製剤について、リセドロン酸 Na 錠 17.5mg およびミノドロン酸錠 50mg

を推奨薬とした院内ルールおよびフローチャートを提案した。本フォーミュラリーについては整形外科と協議し、適正使用の観点から作成されたことを説明し、承認された。また、各フォーミュラリー中に記載のある後発医薬品名について、メーカー変更時にも円滑に対応できるように屋号を省略すること、緩下剤のフォーミュラリー運用規定について、院内採用医薬品のアミティーザカプセルの規格変更に伴い薬剤名を変更することの 2 点を説明し、承認された。

次回薬事委員会の開催日時は、2025 年 6 月 5 日(木)とした。